

NEMURO

# 人物図鑑

ねむろを愛する  
素敵な人たち

## 「道の駅、出会いの駅、 スワン44は人と自然が集う駅」

道の駅「スワン44ねむろ」  
(株)根室市観光開発公社・業務課長

はせがわ  
長谷川

けい  
圭さん (46)



寒風に押されながら建物に入ると、ガラス張りの窓が壁一面に広がり、風蓮湖と春国岱が、まるで映画のスクリーンに映し出されたように目の前に飛び込んできます。

「春国岱の美しい風景と、四季折々に間近に見られる野鳥はここで一番のお勧めです」と、訪れる観光客に声をかけるのは、道の駅「スワン44ねむろ」で施設の案内を務める(株)根室市観光開発公社の長谷川圭業務課長です。

現在、北海道の道の駅は95カ所ありますが、「スワン44」は道内59番目に登録されています。

「平成12年4月のオープンからこれまで、約130万人余りの方々に施設を利用してもらっています。数ある道の駅の中でも、眼前にこれほど素晴らしい自然の姿が眺望できる施設は他にはないと自負してい

ます。平成17年にラムサール条約登録湿地となった風蓮湖・春国岱は野鳥の宝庫といわれるように、冬にはオオワシが大空を優雅に舞い、春から秋にかけてはタンチョウの子育ての様子など、手付かずの自然を十分に堪能していただけます。」

オープンの時から雄大な自然の中で仕事をしている長谷川さんからは、その魅力に引かれているのがひしひしと伝わってきます。

「スワン44には車でお越しになる方が多く、豊かな自然とゆったりと流れる時間が運転の疲れを癒してくれます。備え付けの望遠鏡やモニターなどでのんびりと自然の魅力を体験していただき、安全運転での旅をお願いしたいですね。もちろん、地元の方々にも、四季を通じての風蓮湖・春国岱の魅力に触れて、新しい発見をしていただきたいですね。」と、来訪者の旅の安全を気にかける言葉にも、自然の中で生まれる優しさが感じられます。

今年で8年目を迎える道の駅「スワン44ねむろ」。根室を代表する観光施設となった今、この道の駅から、根室観光が全国に発信されています。